※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１１

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	歴史総合　新訂版　むすびつく世界と日本(実教出版)						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近代（17 世紀ごろ）から現代の日本に至るまでの歴史の流れを理解できるように、基礎的・基本的な歴史事象を中心に学習を行います。また、従来の世界史の内容も学習し、近現代の歴史を多角的視点から考察していきます。
・授業は、教科書・プリント・画像・映像を使って行い、歴史に興味を持てるように工夫していきます。また、端末機器を使用して、探究的な学習も実施します。
・基礎的・基本的な事項を確認するために、授業において、定期的に小テストを行います。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおりに育成することをめざす。

（１）知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
（２）近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
（３）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化への胎動・欧米の市民革命と西洋の衝撃	・江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ・幕府の政治改革と欧米諸国の日本接近 ・アジアの繁栄とヨーロッパ社会の変化 ・イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ・フランス革命とウィーン体制 ・アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 ・オスマン帝国の衰退とロシア ・アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡	a: 産業革命の始まりと、それに伴う欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中での日本と諸外国との関わり、日本の開国までの経緯について理解し、その知識を身につけている。 b: 産業革命の始まりと、それに伴う欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中での日本と諸外国との関わり、日本の開国までの経緯について考察し、表現している。 c: 産業革命の始まりと、それに伴う欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中での日本と諸外国との関わり、日本の開国までの経緯について調べ、追究している。	定期考査	定期考査 思考表現問題	思考表現問題 授業内活動

※令和４年度以降入学生用

	・欧米諸国と日本の国民国家形成・帝国主義の時代	・イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 ・明治政府の諸改革 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動と大日本帝国憲法 ・帝国主義の時代へ ・朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア ・日露戦争と東アジアの変動 ・日本の産業革命	a: 欧米諸国における国民国家の形成、およびアジア進出という国際情勢の中で、開国・明治維新を経て近代国家が急速に形成され、さらには日清・日露戦争を通して、日本の国際的地位が向上していく過程の諸問題について理解し、その知識を身につけている。 b: 欧米諸国における国民国家の形成、およびアジア進出という国際情勢の中で、開国・明治維新を経て近代国家が急速に形成され、さらには日清・日露戦争を通して、日本の国際的地位が向上していく過程の諸問題について考察し、表現している。 c: 欧米諸国における国民国家の形成、およびアジア進出という国際情勢の中で、開国・明治維新を経て近代国家が急速に形成され、さらには日清・日露戦争を通して、日本の国際的地位が向上していく過程の諸問題について調べ、追究しようとしている。	定期考査	定期考査 思考表現問題	 思考表現問題 授業内活動
2学期	第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連の成立 ・米騒動とデモクラシー ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・アジアの民族運動 ・第一次世界大戦後の欧米諸国 ・ひろがる社会運動と普通選挙の実現	a: 第一次世界大戦前後の国際関係の変化と日本の政治・経済の動向、社会や人びとの生活の変化、それぞれの時代の文化の特色について理解し、その知識を身につけている。 b: 第一次世界大戦前後の国際関係の変化と日本の政治・経済の動向、社会や人びとの生活の変化、それぞれの時代の文化の特色について考察し、表現している。 c: 第一次世界大戦前後の国際関係の変化と日本の政治・経済の動向、社会や人びとの生活の変化、それぞれの時代の文化の特色について調べ、追究しようとしている。	定期考査	定期考査 思考表現問題	 思考表現問題 授業内活動

※令和４年度以降入学生用

	経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズムの時代 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争と戦時体制 ・第二次世界大戦の勃発 ・第二次世界大戦の終結 ・国際連合の成立と冷戦 ・日本占領と日本国憲法 ・朝鮮戦争と日本	a: 世界恐慌以降の国際関係の変化と第二次世界大戦の展開、戦後の国際体制の変化および日本の占領統治と独立ついて理解し、その知識を身につけている。 b: 世界恐慌以降の国際関係の変化と第二次世界大戦の展開、戦後の国際体制の変化および日本の占領統治と独立ついて考察し、表現している。 c: 世界恐慌以降の国際関係の変化と第二次世界大戦の展開、戦後の国際体制の変化および日本の占領統治と独立ついて調べ、追究しようとしている。	定期考査	定期考査 思考表現問題	思考表現問題 授業内活動
3学期	冷戦と脱植民地化	・植民地の独立 ・米ソ両陣営の動揺 ・日本の国際社会復帰と高度経済成長	a: 戦後の冷戦下における国際情勢の変化、そのなかで高度経済成長期を迎える日本の情勢と、国際社会における日本の立場の変化について理解し、その知識を身につけている。 b: 戦後の冷戦下における国際情勢の変化、そのなかで高度経済成長期を迎える日本の情勢と、国際社会における日本の立場の変化について考察し、表現している。 c: 戦後の冷戦下における国際情勢の変化、そのなかで高度経済成長期を迎える日本の情勢と、国際社会における日本の立場の変化について調べ、追究しようとしている。	定期考査	定期考査 思考表現問題	思考表現問題 授業内活動

※令和４年度以降入学生用

	多極化する世界・グローバル化と現代世界	・石油危機と世界経済 ・緊張緩和から冷戦の終息へ ・日本の経済大国化 ・地域紛争と対立 ・国際秩序の変容	a: 石油危機以降の日本の政治・経済の動向や冷戦終結後の世界情勢、さらには今日の世界と日本の関係に関する様々な歴史事象、社会や人びとの生活の変化、これらの時代の文化について理解し、その知識を身につけている。 b: 石油危機以降の日本の政治・経済の動向や冷戦終結後の世界情勢、さらには今日の世界と日本の関係に関する様々な歴史事象、社会や人びとの生活の変化、これらの時代の文化について考察し、表現している。 c: 石油危機以降の日本の政治・経済の動向や冷戦終結後の世界情勢、さらには今日の世界と日本の関係に関する様々な歴史事象、社会や人びとの生活の変化、これらの時代の文化について調べ、追究している。	定期考査	定期考査 思考表現問題	 思考表現問題 授業内活動

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度